

きょうどうさんかく

「男女共同参画」ってなに？



性別による固定観念にとらわれず、一人ひとりの個性や能力が最大限に^{はつき}発揮され、すべての人が平等に社会の様々な活動に参加し、責任を分かち合う社会の事です。

性別による区別なく、誰もが自分らしく生きることは、自身の可能性を広げるだけでなく、より豊かな社会を築くことにもつながります。

この考え方を、日々の学校生活や家庭、地域での活動に当てはめ、考えてみましょう。

「自分らしさ」ってなんだろう？

あなたは、こんなふうに言われたことはありますか？

本当は赤のランドセルがよかったけど、「女の子みたいだからダメ」と言われた。



野球をやってみたいけど、「男の子がやるものだよ」と言われた。



⇒「女の子だから」「男の子だから」と、それが当然かのように、「こうすべきだ」など、決めつけるような言葉を聞いたりしたことはありませんか？ 私たちの身の回りには、性別による「思い込み」や「決めつけ」、つまり「固定観念（ジェンダーバイアス）」が、深く根付いています。テレビやSNS、学校や家庭など、身近な場所にもかくれているかもしれません。

好きなことや得意なこと、将来の夢は、性別に関係なく、一人ひとり、様々です。大切なのは、自分の気持ちや考えを大切にすることです。そして、みんなの個性を、「そういう考え方もあるんだ!」と理解しようとする事です。

「性別の思い込み」を見つけよう！



あなたの周りには、「男の子はこう、女の子はこう」という「思い込み」や「決めつけ」が隠れているかもしれません。次の項目で、当てはまるものにチェックしてみましょう。

- ☐ 性別によって求められる言動やファッションが違ふと感じる。
- ☐ 学校行事や係決めなどで、「これは男の子(女の子)の仕事だね」という雰囲気を感じる。
- ☐ 「男の子なのに優しいね」「女の子なのにしっかりしているね」など、性別を理由にした言葉を使ったり、聞くことがある。
- ☐ 進路の話で、「女の子だから(男の子だから)この仕事は向いてない」と思ったことがある。
- ☐ 家での手伝いや役割が、性別によって自然と決まっていると感じる。

チェックが多かった人は、日頃から「性別の思い込み」に気づいている証拠です。無意識の「思い込み」に気づくことは、自分も他の人も大切に、誰もが自分らしく生きられる社会へと変えていく第一歩になるはずです。

家庭から始まる「男女共同参画」



家の中には、毎日様々な仕事があります。

ご飯の準備や片付け、お風呂の掃除、洗濯たく、部屋の掃除など、これらは「家事」と呼ばれ、家族みんなの生活を支える大切な役割です。

これらの家事は、普段だれが中心となって担っているでしょうか？

家事は、年齢や性別に関係なく、家族みんなで協力し、分担することができます。

自分にできる家事を見つけて、積極的に取り組んでみましょう。



【家事チャレンジ！ あなたは何に挑戦する？】

挑戦したい家事：

選んだ理由や、どうやって取り組みたいか：



家事は、家族みんなが気持ちよく過ごすために欠かせません。

もし、特定の誰かに負担が偏っているとしたら、それは公平でしょうか？

家事を分担すれば、それぞれが自分の時間を持て、家族が笑顔で過ごせる時間も増えるでしょう。

家庭での家事分担は、「男女共同参画」を身近な場所で取り組むことです。

みんなが居心地よく、自分らしく過ごせる家庭にしましょう。

みなさんに大切にしてほしいこと

自分の好きなことや、やってみたいことは、性別に関係なく、誰もが自由に選び、追求できます。自分の気持ちを大切に、それを行動に移してみましょう。新たな挑戦ができ、あなたの未来の可能性も大きく広がっていきます。

- ・自分も相手も、多様な個性や選択を尊重しましょう。
- ・自分の個性や、やりたいことを信じて、チャレンジしてみましょう。
- ・大事なことは、性別にとらわれず、みんなで話し合って決めましょう。
- ・家庭や学校、地域での役割は、性別に関係なく、協力し、力を合わせましょう。



保護者の皆様へ

このリーフレットや作品募集を通して、子どもたちが「男だから」「女だから」という思い込みにとらわれず、お互いを大切にしながら、自分らしく成長していくきっかけになればと願っています。ぜひご家庭でも、家事や役割分担、将来やりたいことなどについて、お子さんと話し合ってみてください。